

第2回 北上市立笠松小学校・和賀西小学校統合検討委員会 会議要旨

日時：2026年6月11日（木） 18:30～20:15

参加者：（以下敬称略）

検討委員会委員 及川浩子、高橋大、高橋和恵、鈴木麻衣子、阿部小百合、小原琢光、小原麗奈、小原維久子、照井真紀子、伊藤等、名須川幸男、高橋剛、照井和仁、小原嘉正、早川英信、高橋博敬、小原隆、菊池塔寿、小原幹男

北上市教育委員会教育部総務課長 嶽間澤健一郎、学校教育課長 多田義孝、総務課 岩渕麻美、高橋典男

欠席者：小原春樹

会議の概要：

前回の議事録と、昨年度まで実施された笠松小学校と和賀西小学校の2つの地域協議会の協議結果を確認した。その後、当委員会での検討事項を整理。事務局が提示した論点整理表に基づき検討し、論点について委員が意見を出し合い、今後の議題を定めた。統合時期、使用校舎、校名、校歌、校章といった重要事項のほか、スクールバス、学童保育を協議することとした。

次第2. 委員長あいさつ

委員長より、本日の会議の趣旨が説明された。地域協議会の振り返りと要望事項の確認、そしてこの委員会の今後の論点整理に焦点を当てて意見交換を行うことが示された。また、事務局より、委員20名中19名が出席しており、委員会規約に基づき会議が成立していることと報告した。

次第3. 第1回検討委員会の議事録確認

事務局より、資料1に基づき、2026年5月26日に開催された第1回検討委員会の議事録概要を説明した。統合方針案を基に、校名、通学方法、学童保育などの懸念事項について意見交換が行われたことを確認した。

次第4. 協議(1)両校の地域協議会の協議結果の確認

事務局より、資料2-1と資料2-2に基づき、笠松小学校と和賀西小学校それぞれの地域協議会での協議結果と要望事項を報告した。地位協議会に参加していた委員から補足説明がなされ、意見交換を行い、統合検討を進めていく認識をすり合わせた。

- 笠松小学校 地域協議会：
 - 児童数減少と複式学級発生の可能性から、和賀西小学校との統合を第一に検討する結論に至った。
 - 主な意見として、早めの統合を希望する声、少人数教育を評価する声、学校がなくなる寂しさなどが挙げられた。
 - 市への要望事項として、スクールバス導入、事前交流活動、学童保育の整備などが提示された。
- 和賀西小学校 地域協議会：
 - 既に複式学級が生じている状況から、笠松小学校との統合を第一に検討する結論に至った。
 - 保護者アンケートでは約 62%が統合に賛同。
 - 市への要望事項として、笠松小と同様の項目が提示された。
- 協議結果に関する意見交換：
 - お互いが相手校のことを考え協議を進めるべきとの意見が出た。
 - 資料 2-2 和賀西小の統合検討委員会の概要説明資料を修正（2018 年に行われた、笠松小と和賀西小との統合議論の経緯を確認した旨、追記）。
 - 和賀西小の地域協議会では、2018 年に行われた笠松小と和賀西小との統合議論がまとまらなかった経緯を確認したことが委員から報告された。これまでの経緯を確認し情報を整理した上で、笠松小との統合を検討することと結論付けたと補足説明がなされ、意見が交わされた。

次第 4. 協議(2)本委員会における協議事項の整理

- 事務局からの説明内容：

検討事項を一覧にした論点整理表が提示された。

 - ○：統合委員会で議論すべき必須項目。
 - △：関心が高く議論の余地がある項目。
 - 空欄：協議する必要がないと考えられる項目。
 - 委員に対し、この分類について意見を求め、本委員会での協議事項を明確化する方針を示した。

それぞれの項目に対する検討内容は以下のとおり。

- 使用する校舎、校名・校章・校歌：
 - 決定事項：これらは既に○（必須項目）となっているため、次回以降に具体的に議論を進める。

- **運動着・上履きなどの取り扱い：**
 - 事務局案では「笠松小学校のものを使用する」とあるが、校名が変更される場合は異なる。現段階では検討項目とせず「空欄」のままにする。
 - 事務局案の趣旨としては、統合しても在校生は現行のものを使用し、新入生は統一ものを使用すること。
 - **決定事項：** 現段階での協議事項とはしない。
- **学校行事：**
 - 現時点での必要性は感じないとの意見あり。
 - **決定事項：** 協議事項としない。
- **学童保育所：**
 - △ではなく○（必須項目）にすべきとの意見。
 - 事務局の「一部協議可能」という表現は、市の基本方針はあるが、委員会の意見を検討は可能であるという意味だと説明。
 - 統合時の一時的な併用は、期間が分からないため、子どもや保護者の混乱を招く恐れがあるため、確認したいとの意見。
 - **決定事項：** 当委員会での協議事項として話し合いを進め、後日意見交換会を設ける。
- **使用しなくなった校舎の活用・校舎改修：**
 - 両項目は、統合委員会とは切り離して議論しても良いのではないかと意見があり、統合検討委員会の検討項目としないこととした。
- **スクールバスの運用：**
 - △ではなく○（必須項目）として、検討段階である程度の実現可能性を確認したいと意見。
 - 支援対象境界となった場合の方針や、運転手不足の場合のタクシー活用も確認したい。
 - 最終的には教育委員会が決定するため、この場で詳細に検討しなくても良いのでは、という意見も出た。
 - 和賀西小学校から通う児童全員にスクールバスかタクシーを手配する方針を改めて説明。ルート等の確約は難しいと説明しつつ、方針を確認する意見交換会を設けることを提案。
 - **決定事項：** この委員会での協議事項とし、後日意見交換会を設ける。
- **中学校統合の検討：**
 - 小中一貫校の検討も踏まえ、空欄ではなく「三角（検討対象）」とすることの意見。
 - **決定事項：** 中学校統合（30 番）については、小学校統合後に検討することとし、本委員会では検討対象外とする。

次第 5. その他

- 次回・次々回開催日：

- 決定事項：第 3 回 2026 年 6 月 23 日(火) 18:30～、第 4 回 2026 年 7 月 7 日(火) 18:30～に和賀地区交流センターで開催する。

- 統合検討委員会だより：

保護者や地域住民へのお知らせのほか、所属組織の意見集約のツールとして「統合検討委員会だより」の案を作成し、配布を計画していると説明。

- 「令和 9 年 4 月」という統合時期の記載が決定事項と誤解される可能性があるとの指摘。誤解を避けるため「を旨として協議」や「(仮)」といった表現に修正する。
- 配布は学校メール、広報紙挟み込み、市ホームページでお知らせする。